

な服装史の数多の文献と対照して行くと、色や形の上からも略々当時のスタイル図として再現する事が出来る。

ルネッサンス以前の暗黒時代の様に思われ勝ちな中世と、終りに近くなると非常に人間性豊かなものとなり、服装としても現代感覚に通じるものも見出され、又徒らに虚飾を競うという点もなく、好感のもてるものであり、生活に結びついた服装として、現代の服装を考える上に、かなり参考になる事がわかった。

2 カンタベリー物語にあらわれた服装について

(第2報)

大阪市大 林田喜美子

英国中世の終りに近い頃、書かれた Chaucer の *The Canterbury Tales* の中には、服装に関する叙述が多い。その部分を取り出して詳しくしらべると当時の服装が生き生きと再現されて非常に興味があり、一般的な服装史の研究以上に、当時の状態をはっきりと掴むことが出来る。前回に於ては先ずその中の *The prologue* について研究したが、今回は *The Knightes Tale*, *The Milleres Tale*, *The Tale of The Wyf of Bathe* についてその服装に関する叙述を抜き出し、仔細にしらべて、その人物の服装を浮き出させ、それは当時の一般的